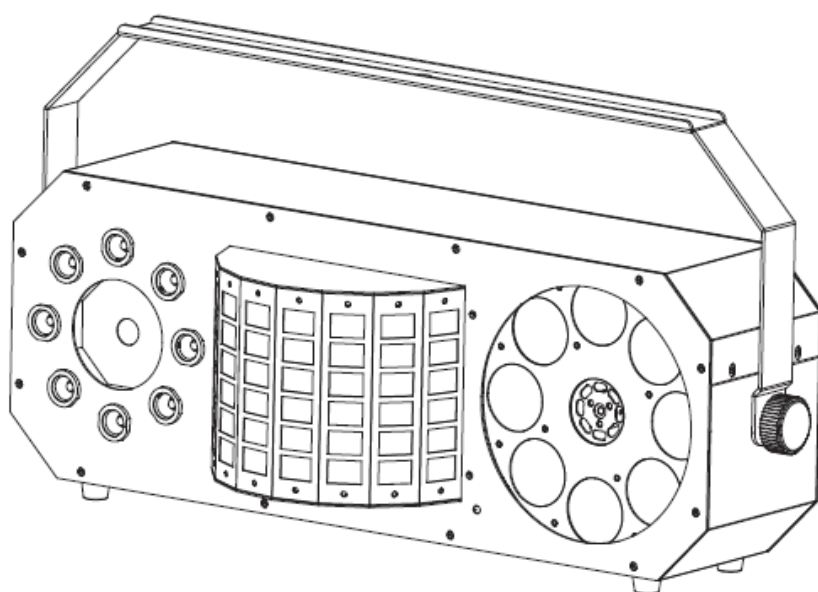




BOOM BOX FX2

取扱説明書

V1.00



株式会社 サウンドハウス

〒286-0825 千葉県成田市新泉14-3

TEL:0476(89)1111 FAX:0476(89)2222

<http://www.soundhouse.co.jp> shop@soundhouse.co.jp

目次

はじめに	3
基本仕様	3
製品仕様	3
安全上の注意	4
レーザーの安全に関する注意事項	5
各部の名称	5
操作メニュー	6
基本操作	7
UC IR コントロール(別売)	12
DMX チャート	13
技術資料	16
寸法図	16
ヒューズ交換	16
メンテナンス	16
故障かな？と思ったら	17

はじめに

この度は AMERICAN DJ、BOOM BOX FX2 をご購入いただき、誠にありがとうございます。
BOOM BOX FX2 は、ゴボ、ウォッシュ、レーザー、ダービータイプのエフェクトを一つにまとめた
4FX-in-1 エフェクトです。本製品の性能を最大限に発揮させ、安全に、末永くお使いいただくため、
ご使用になる前に、この取扱説明書を必ずお読みください。

基本仕様

- ・ ゴボ、ウォッシュ、レーザー、ダービー4FX-in-1 エフェクト
- ・ ゴボ: 3W LED x 8 (赤、緑、青、白、各 2 個)
- ・ ダービー10W RGBW Quad LEDx2 搭載
- ・ ウォッシュ: 1W LED x 8 (赤、緑、青、白、各 2 個)
- ・ DMX -512 対応 (2チャンネルモード)
- ・ サウンド・アクティブモード、ショーモード、DMX モード、マスター/スレーブモード対応
- ・ 本体にサウンド・アクティブモード用マイクを内蔵
- ・ 9種類のプリセット・ショー・プログラム搭載
- ・ ハンギングブラケット付属
- ・ UCIR、Airstream リモコン対応 (別売)

製品仕様

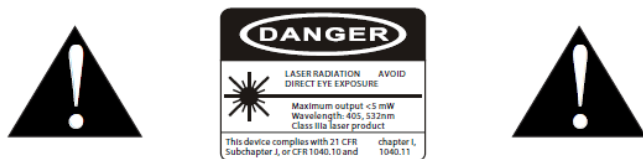
モデル	BOOM BOX FX2
LED	8 x 3W (2 赤、2 緑、2 青、2 白) LED 8 x 1W (2 赤、2 緑、2 青、2 アンバー) LED 8 x 10W RGBW LED
レーザー	緑色、赤色レーザー
DMX チャンネル	2 チャンネルモード (3/19 チャンネル)
消費電力	62W
ヒューズ	2A
電源連結	9 台
電圧	AC100V、50/60Hz
重量	1.7 Kg
寸法	幅 634mm×奥行 232mm×高さ 319mm

安全上の注意

1. 梱包を開き、破損した部品や欠品がないか確認してください。異常が認められる場合は本製品の使用を中止し、販売店にご相談ください。
2. 本製品は必ず安全で、安定した場所に設置してください。電源ケーブルは、踏まれたり挟まれたりすることのない場所に設置してください。
3. 接続がすべて完了してから、本製品の電源を入れてください。
4. 本製品を他の機材と接続する際は必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。
5. ケーブルを抜き差しする際は、必ずコネクター部を持って行ってください。
6. AC100V 50/60Hz 環境にてご使用ください。
7. デイマーパックからの電源供給は行わないでください。
8. 本体カバーを外さないでください。
9. 本製品は屋内専用です。屋外で使用した場合は保証対象外となります。
10. 周辺温度が 40 度を超える環境では使用しないでください。
11. 壁から約 15cm 以上離し、通気性の良い場所に設置してください。
12. 布やシート等を被せないでください。また周辺に可燃物や爆発物、温度の高い物等を置かないようにご注意ください。
13. 本製品に液体がかからないよう、また、雨天や湿気にさらさないようにご注意ください。感電や火災の原因となります。
14. 長時間使用しない場合は、電源ケーブルをコンセントから外してください。
15. 故障が生じた場合は、販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。
16. メンテナンス以外の目的において、本製品を無断で分解しないでください。
17. 付属の電源ケーブルは、専用の電源ケーブルです。本製品をご使用の際は必ず付属の電源ケーブルを使用してください。

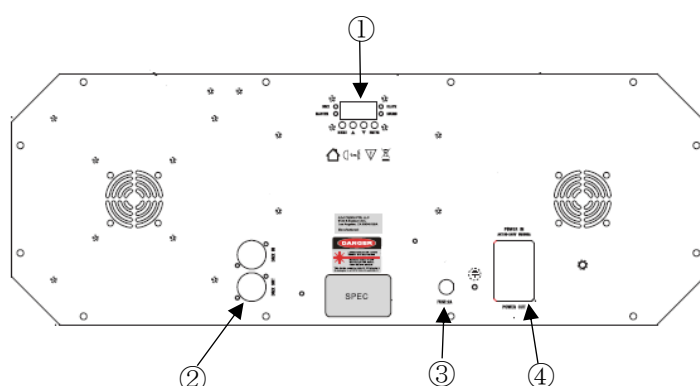
故障が生じた場合はお手数ですが販売店もしくはサウンドハウスまでご連絡ください。メンテナンス以外の目的において無断で本体カバーを開けられた場合、保証の対象外となる場合があります。

レーザーの安全に関する注意事項



本製品はクラス IIIa のレーザーを使用しています。レーザーが正しくセットアップされていなかったり、適切に使用されていない場合、目に影響を及ぼす可能性があります。

各部の名称

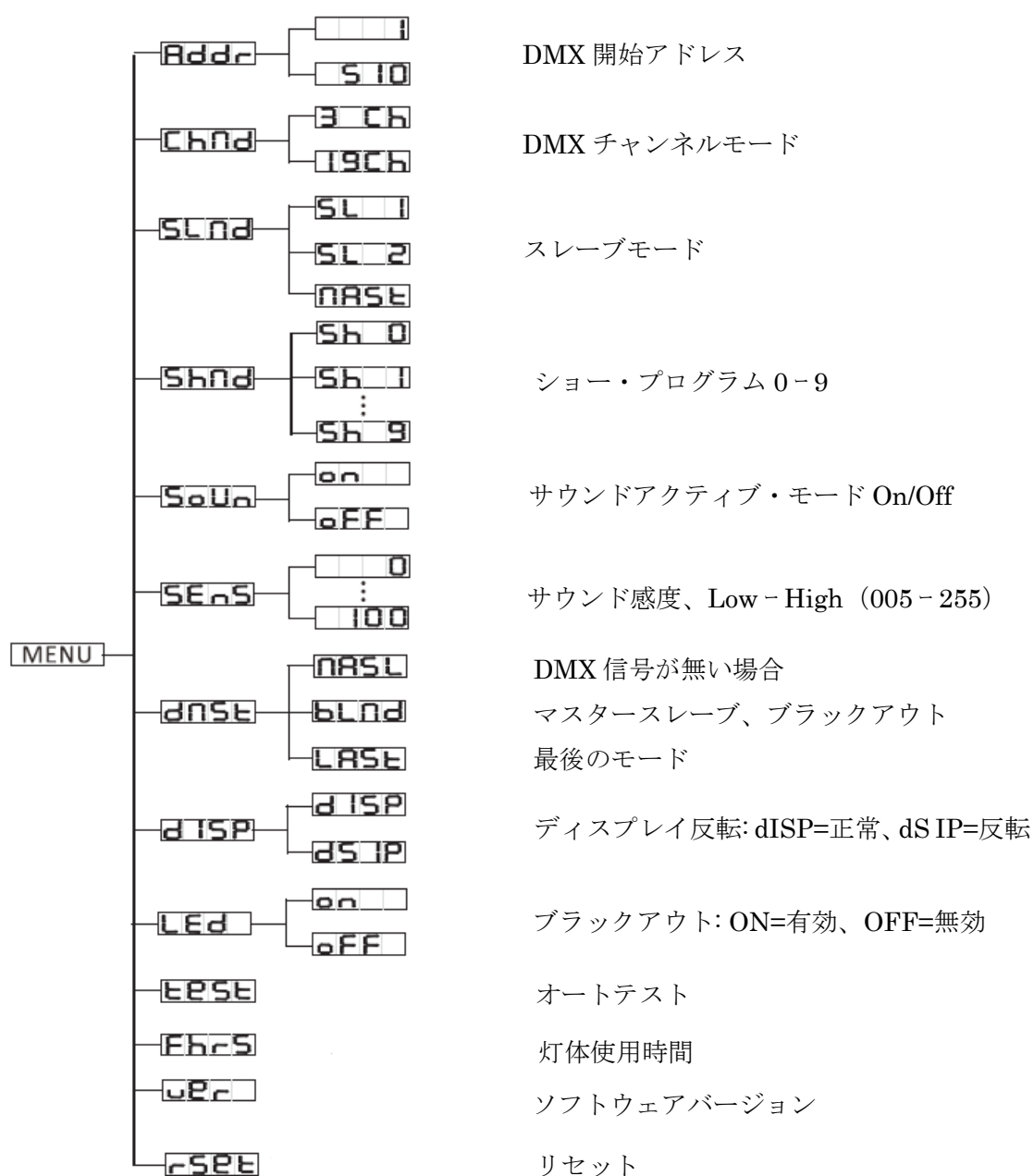


1. ディスプレイ:各種メニューを表示します。
操作ボタン:機能を選択します。

MENU	メニューを選択
UP	メニューを上に移動
DOWN	メニューを下に移動
ENTER	決定、保存、確認

2. DMX IN/OUT:3ピン XLR 端子
3. ヒューズ
4. 電源コネクタ

操作メニュー



基本操作

設定は「MENU」ボタンを押して設定内容を表示し、「ENTER」ボタンを押して確定させます。「MENU」ボタンを 3 秒以上長押しすることで確定した内容を保存し、メニューに戻ります。30 秒以上操作しなかった場合、画面はロックされます。「MENU」ボタンを 3 秒以上長押しすることで、ロックは解除されます。

【DMX Address】:

DMX アドレス設定

1. ディスプレイに ADDR と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 現在設定されているアドレスが表示され、点滅します。「UP」「DOWN」ボタンを押し、設定するアドレスを表示します。「ENTER」ボタンを押して確定します。

【DMX Channel Mode】:

DMX チャンネルモード設定

1. ディスプレイに CHND と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 現在設定されている DMX チャンネルモードが表示されます。「UP」「DOWN」ボタンを押し、設定する DMX チャンネルモードを表示します。「ENTER」ボタンを押して確定します。

【Slave Mode】:

マスター・スレーブモードを設定します。

1. ディスプレイに SLND と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. SL1、SL2 のいずれかが表示されます。「UP」「DOWN」ボタンを使って、設定するモードを選択します。
3. 「ENTER」ボタンを押して確定します。

※マスタースレーブモードのとき、灯体の 1 つをマスター、それ以外をスレーブに設定します。スレーブを SL1 に設定した場合、マスターとスレーブは同じ動きになり、SL2 に設定した場合、対象の動きになります。

【Show Mode】:

ショーモード 0-9(プリセットプログラム)を選択します。

1. ディスプレイに SHND と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. Sh 0-9 が表示されます。「UP」「DOWN」ボタンを使って、設定するショー・プログラムを選択します。0 はランダムショーです。
3. 「ENTER」ボタンを押して確定します。
4. 「MENU」ボタンを 3 秒以上押すと選択したショー・プログラムが有効になります。

【Sound State】:

サウンドアクティブモードを「ON」又は「OFF」します。

1. ディスプレイに SOUN と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. ON 又は OFF が表示されます。「UP」「DOWN」ボタンを使って、サウンド・アクティブモードを ON 又は OFF します。
3. 「ENTER」ボタンを押して確定します。

【Sound Sense】:

サウンドアクティブモードのマイクの感度を設定します。

1. ディスプレイに SENS と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 0-100 が表示されます。「UP」「DOWN」ボタンを使ってマイクの感度を調整します。
3. 0: 感度が最低、100: 感度が最高を表します。
4. 「ENTER」を押して確定します。

【DMX State】:

DMX 信号が途切れた時に、どのモードで動作させるかを選択します。また、電源投入時の動作モードもここで選択します。

1. ディスプレイに DNST と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. MASL、BLND、LAST のいずれかが DMX State の下に表示されます。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを押して動作モードを選択します。
4. 「ENTER」ボタンを押して確定します。

LAST: DMX 信号が切れる直前の状態で動作します。

MASL: マスター・スレーブ モードになり、プリセットされたショーで動作します。

BLAC: 自動的にスタンバイモードに変わります。

【Display Invert】:

LED ディスプレイ表示を 180 度反転させることができます。

1. ディスプレイに DISP と表示されるまで、「MENU」ボタンを押し「ENTER」ボタンを押します。
2. 「ENTER」ボタンを押すと、dISP が表示されます。もう一度「ENTER」ボタンを押すと dSIP が表示され、「ENTER」ボタンを押すと LED ディスプレイの表示が反転します。再度「ENTER」ボタンを押すと、通常の表示になります。

【LED】:

10 秒間操作がなかった場合、LED ディスプレイのバックライトをオフします。

1. ディスプレイに LED と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. On または Off が表示されます。
3. 「UP」「DOWN」ボタンを押し On/Off を選択します。
On: バックライトは常時オン
Off: 操作がなかった場合、バックライトは 10 秒後にオフ
4. 「ENTER」ボタンを押して確定します。

【Self Test】:

セルフ・テストプログラムを実行します。

1. ディスプレイに TEST と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. マニュアル・テストが開始されます。

【Fixture Time】:

灯体の使用時間を表示します。

1. ディスプレイに FHRS と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 灯体の使用時間が表示されます。

【Firmware Version】:

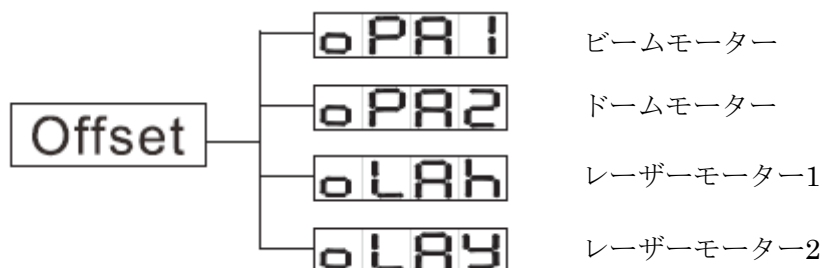
ソフトウェアのバージョンを表示します。

1. ディスプレイに VER と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 「ENTER」を押してソフトウェアのバージョンを表示します。

【Reset】:

灯体をリセットします。

1. ディスプレイに RSET と表示されるまで「MENU」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 灯体がリセットされます。



「ENTER」ボタンを 5 秒以上押し続けてホーム位置調整メニューに入ります。このメニューからビームモーター、ゴボモーター、レーザーモーターのホーム位置を調整します。

【oPA1】:ビームモーターの調整

1. 「ENTER」ボタンを 5 秒以上長押ししてホーム位置調整メニューに入ります。「oPA1」が表示されるまで「UP」「DOWN」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを押し、ホーム位置を調整し、最後に「ENTER」ボタンを押して確定します。「MENU」ボタンを 1 秒以上押し続けて、メインメニューに戻ります。

【oPA2】:ゴボモーターの調整

1. 「ENTER」ボタンを 5 秒以上長押ししてホーム位置調整メニューに入ります。「oPA2」が表示されるまで「UP」「DOWN」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを押し、ホーム位置を調整し、最後に「ENTER」ボタンを押して確定します。「MENU」ボタンを 1 秒以上押し続けて、メインメニューに戻ります。

【oLAh】:レーザーモーター1 の調整

1. 「ENTER」ボタンを 5 秒以上長押ししてホーム位置調整メニューに入ります。「oLAh」が表示されるまで「UP」「DOWN」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを押し、ホーム位置を調整し、最後に「ENTER」ボタンを押して確定します。「MENU」ボタンを 1 秒以上押して、メインメニューに戻ります。

【oLAY】:レーザーモーターの 2 調整

1. 「ENTER」ボタンを 5 秒以上長押ししてホーム位置調整メニューに入ります。「oLAh」が表示されるまで「UP」「DOWN」ボタンを押し、「ENTER」ボタンを押します。
2. 「UP」「DOWN」ボタンを押し、ホーム位置を調整し、最後に「ENTER」ボタンを押して確定します。「MENU」ボタンを 1 秒以上押して、メインメニューに戻ります。

UC IR コントロール(別売)

UC IR を使用して下記表の機能をリモート制御することができます。制御できる距離は最大 9m です。

本機は Airstream IR に対応しています。IR トランスミッター (別売) を iPhone/iPad に接続して使用します。

1. App Store から「AIRSTREAM IR」をダウンロードします。
2. IR トランスミッターを iPhone/iPad のヘッドホン端子に接続し、ボリュームを最大にします。

下のコントロール画面 (ページ 1) により制御します。制御できる距離は最大 4.6m です。



UC IR/Airstream IR 共通。ボタン機能対応表

ボタンの名称	機能
STAND BY	ブラックアウト (消灯)
FULL ON	ボタンを押し続ける: 全灯 → ボタンを離す: 通常の明るさに戻る
FADE/GOBO	GOBO モードを選択。一度押すとゴボホイールが選択。1-9 ボタンを使用してゴボを選択。
“DIMMER +”/”DIMMER -”	カラーモードのとき、LED の明るさを調整
STROBE	長押ししてストロボモード有効。
COLOR	カラーホイールを調整。1-9 ボタンを使用してカラーを選択。カラーモードのとき “DIMMER +”/”DIMMER -” によって出力を調整
SOUND ON/OFF	サウンドアクティブ ON/OFF
SHOW 0	ショーモード有効。1-4 ボタンを使用してショーを選択

DMX チャート

3 チャンネルモード

チャンネル	DMX 値	機能
1		ショーモード
	0 - 69	機能無し
	70 - 79	ショー1
	80 - 89	ショー2
	90 - 99	ショー3
	100 - 109	ショー4
	110 - 119	ショー5
	120 - 129	ショー6
	130 - 139	ショー7
	140 - 209	ショー8
	210 - 249	ショー9
	170 - 255	ショー0
2		ショースピード
	0 - 255	ショースピード(遅い-速い)
3		特別機能
	0 - 139	機能無し
	140 - 209	全リセット
	210 - 249	機能無し
	250 - 255	サウンドアクティブ

19 チャンネルモード

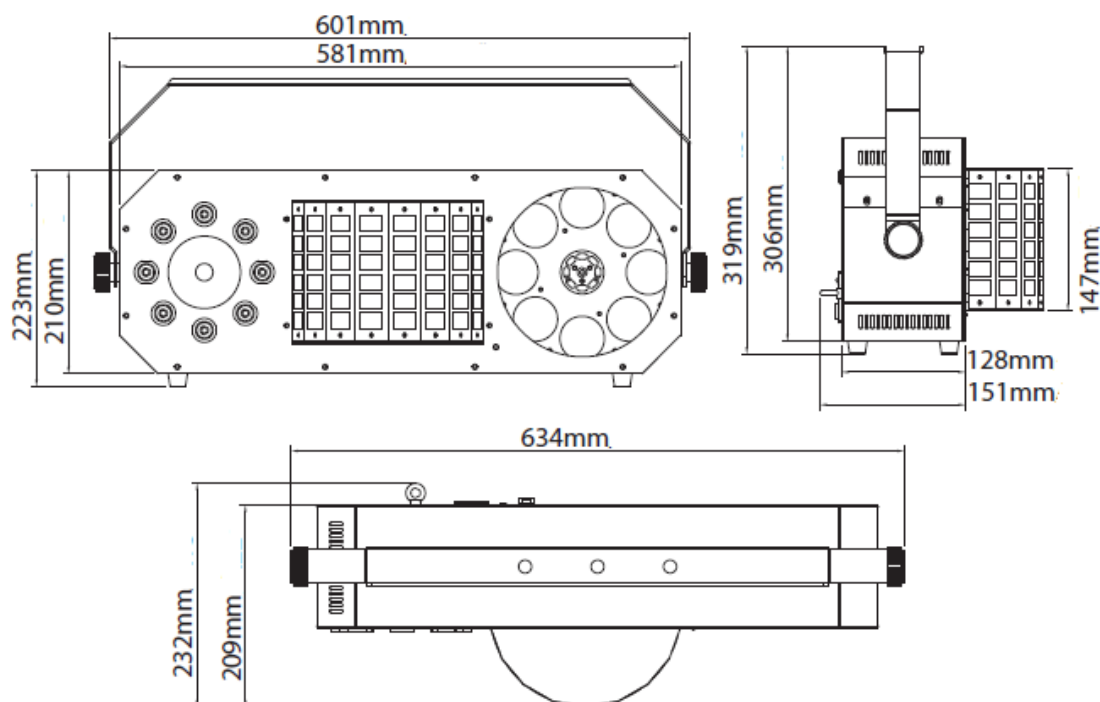
チャンネル	DMX 値	機能
1		センターLED エフェクト
	0 - 9	機能無し
	10 - 255	カラーマクロ
2		赤色レーザー(センター)

	0 - 127 128 - 255	クローズ オープン
3	0 - 127 128 - 255	緑色レーザー(センター) クローズ オープン
4	0 - 255	レーザーパターン(センター) レーザーパターン
5	0 - 255	赤色ビームエフェクト(0% - 100%)
6	0 - 255	緑色ビームエフェクト(0% - 100%)
7	0 - 255	青色ビームエフェクト(0% - 100%)
8	0 - 255	白色ビームエフェクト(0% - 100%)
9	0 - 7 8 - 15 16 - 131 132 - 139 140 - 181 182 - 189 190 - 231 232 - 239 240 - 247 248 - 255	ビームエフェクトストロボ クローズ オープン ストロボ(遅い-速い) オープン ファーストクローズ-スローオープン オープン ファーストオープンスロークローズ オープン ランダムストロボ オープン
10	0 - 255	ビームエフェクト・マスターディマー(0% - 100%)
11	0 - 127 128 - 189 190 - 193 194 - 255	ビームエフェクト・モーター回転 モーターインデックス 時計回り(遅い-速い) 停止 反時計回り(速い-遅い)
12	0 - 9 10 - 255	赤色ゴボエフェクト クローズ オープン
13	0 - 9 10 - 255	緑色ゴボエフェクト クローズ オープン
14		青色ゴボエフェクト

	0 - 9 10 - 255	クローズ オープン
15	0 - 9 10 - 255	白色ゴボエフェクト クローズ オープン
16	0 - 127 128 - 189 190 - 193 194 - 255	ゴボエフェクト・モーター回転 モーターインデックス 時計回り(遅い-速い) 停止 反時計回り(速い-遅い)
17	0 - 69 70 - 79 80 - 89 90 - 99 100 - 109 110 - 119 120 - 129 130 - 139 140 - 209 210 - 249 170 - 255	ショーモード 機能無し ショー1 ショー2 ショー3 ショー4 ショー5 ショー6 ショー7 ショー8 ショー9 ショー0
18	0 - 255	ショースピード ショースピード(遅い-速い)
19	0 - 139 140 - 209 210 - 249 250 - 255	特別機能 機能無し 全リセット 機能無し サウンドアクティブ

技術資料

寸法図



ヒューズ交換

1. 電源ケーブルをコンセントから抜きます。
2. 電源ケーブル差し込み口の下にあるヒューズホルダーを取り外します。
3. ヒューズを新しいものに交換し、ヒューズホルダーを元に戻します。

メンテナンス

使用頻度に応じたメンテナンスを行ってください。メンテナンスを行う際は、必ず電源ケーブルをコンセントから外してください。

1. 通常のガラスクリーナーを使い、柔らかい布でケースを拭きます。
 2. 外側のレンズは、ガラスクリーナーで 20 日に一度を目安にクリーニングしてください。
 3. クリーニング後、電源を入れる前に、本体が完全に乾いていることを確認してください。
- ※クリーニングの頻度は、環境によって異なります。

故障かな？と思ったら

製品が正しく動作しない場合は、下記をご確認ください。

症状	確認事項
点灯しない	• 電源ケーブルが、正しく接続されているか確認してください。
暗い	• レンズを清掃してみてください。
電源が入らない	• 電源ケーブルが正しく接続されているか確認してください。 ヒューズが切れていないか確認してください。
サウンドに反応しない	• マイクを叩く音、非常に静かな音、ピッチの早い連続音には反応しない場合があります。

上記の方法でも症状が改善されない場合、また、その他の不具合が確認された場合は、販売店、もしくは正規代理店までお問い合わせください。

